

## 産業応用フォーラム「工場電気設備における雷害事例と保護対策」

**概要：**電力は発電所で発電され、送電、変電、配電の各設備を経由して需要家設備に届けられますが、これらの設備のうち、送電設備において、鉄塔は高層構造物であり且つ、架空送電線は長距離にわたって設置されているため、さまざまな自然現象、とりわけ落雷にさらされることになります。そこで、耐雷設計に関する研究が古くから行われており、送電設備での事故は年々低下しているものの、需要家設備における落雷事故の低減は今なお課題となっております。特に、最近の工場における受配電設備及び生産設備は省エネ化、省力化、高機能化、ICT (Information and Communication Technology) 化等に伴い、電子回路を応用した設備が増加しています。受配電設備の保護継電器、工場内の電力系統監視機器、制御電源設備をはじめ、プラント内の制御監視装置、情報処理機器等において電子化が進んできています。これらの機器は高性能化、小型化が進む一方で、落雷に伴う過電圧及び瞬時電圧低下などの擾乱に対して、影響を受け易くなっています。つまり工場の主回路電力機器自体は避雷器で異常な過電圧から保護されるものの、主回路電力機器以外の機器・装置等に対する雷害が懸念されています。このような状況下にある工場電気設備が直接受けた雷害について、被害事例の詳細に関するデータの全国的な蓄積、分析等によるまとまった把握があまりなされていない現状にあります。工場電気設備に対し生産リスクを考慮した雷害対策を行うためには、最近の雷害事例について詳細内容の把握を行い、最新の対策方法を整理しておくことが重要です。本フォーラムは、以上の観点から、工場における具体的な雷害事例に対し、落雷の状況、被害を受けた設備および被害の状況、実施された対策などについて調査し、整理・検討を行った結果を解説いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

**日時：**平成 24 年 11 月 9 日 (金) 14:00～16:30

**会場：**昭和電工株式会社 本社 会議室

東京都港区芝大門 1-13-9

JR 山手線 浜松町駅下車、徒歩 3 分 または 都営地下鉄浅草線大門駅下車、A6 番出口より徒歩 2 分

TEL: 03-5470-3557

### プログラム：

- 14:00-14:05 開会、主催者挨拶
- 14:05-14:15 概論 富永 英生 (トクヤマ)
- 14:15-15:05 工場電機設備における雷害事例 沼澤 隆宏 (富士フィルム)  
休憩
- 15:15-16:05 工場電気設備における雷害対策 松葉 義行 (富士電機)
- 16:05-16:25 質疑討論
- 16:25-16:30 主催者挨拶、閉会 成毛 喜一郎 (東京ガス)

司会進行：倉田 智成 (東芝三菱電機産業システム)

**テキスト：**電気学会技術報告 1236 号「工場電気設備における雷害事例と保護対策」をテキストとして使用します。

**参加費：** 会員(正員) ¥1,500- (非課税) 非会員(一般) ¥2,000- (税込)

会員(准・学生員) ¥1,000- (非課税) 非会員(学生) ¥1,500- (税込)

**申込方法：**下記いずれかの方法より、お申し込みください。

○ホームページからのお申込み：<http://www.iee.or.jp/forum.html>

○電子メール、または FAX でのお申込み：「産業応用フォーラム「工場電気設備における雷害事例と保護対策」参加申し込み」と題記し、会員／非会員の別、氏名、所属、連絡先（住所、電話、ファックス、電子メール）、テキストの要・不要の別をご記入の上、10月30日(火)までに下記へお申し込みください（定員 40 名に達し次第、締め切らせていただきます）。

東芝三菱電機産業システム (株) 倉田智成

Fax: 03-5441-9793, e-mail: KURATA.tomoshige(at)tmeic.co.jp, (at)を@に替えて送信してください。

**参加費支払い方法：**参加費は、当日に現金でお支払い願います。領収書は、原則としてフォーラム当日の日付で会場渡しとなりますが、その他のご指示がある場合は申込時にご連絡ください。

**主催：**電気学会産業応用部門 ものづくり技術委員会 (南方委員長)